令和８年度　第２回
関東地方整備局
インフラＤＸ推進本部会議
令和８年１０月２８日

資料－１

令和８年度取組中間報告

1. インフラＤＸ推進の基本スタンス
2. 令和８年度 取組方針
3. 令和８年度 中間報告

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

【インフラDX推進室】関東地方整備局インフラDX推進体制

国土交通省
関東地方整備局

関東地方整備局ワークライフバランス推進本部

〔本部長〕局長　〔副本部長〕副局長（2）
〔委　員〕総務部長、企画部長、建政部長、河川部長、道路部長、港湾空港部長、営繕部長、用地部長、統括防災官

関東地方整備局インフラＤＸ推進本部

〔本部長〕局長　〔副本部長〕副局長（2）
〔委　員〕総務部長、企画部長、建政部長、河川部長、道路部長、港湾空港部長、営繕部長、用地部長、統括防災官

WLB推進本部・幹事会

〔主宰〕総括調整官（2）、企画調整官
〔委員〕公園調整官、河川調査官、道路企画官、港湾空港企画官、営繕調査官、用地調整官、総括防災調整官、人事課長、人事企画官、　総務課長、企画課長、港政課長、港湾事業企画課長

連携

インフラＤＸ幹事会

DX推進室

〔幹事長〕企画部長
〔委　員〕総括調整官（2）、広報広聴対策官、公文書管理官、企画調査官、技術調整管理官、技術開発調整官、工事品質調整官、建設情報・施工高度化技術調整官、情報セキュリティ管理官、公園調整官、河川保全管理官、道路保全企画官、交通拠点調整官
港湾空港企画官、営繕品質管理官、用地調整官、総括防災調整官、防災情報調整官

サイバーセキュリティ幹事会

〔幹事長〕企画部長
〔委　員〕総括調整官（2）、企画調整官、公園調整官、河川調査官、道路企画官、港湾空港企画官、営繕調査官、用地調整官、防災情報調整官

- DX推進用地WG（〔グループ長〕用地部長）
- DX推進建政WG（〔グループ長〕建政部長）
- DX推進総務WG（〔グループ長〕総務部長）
- 情報インフラ推進WG（〔グループ長〕企画部長）
- DX推進防災WG（〔グループ長〕統括防災官）
- DX推進港湾空港WG（〔グループ長〕港湾空港部長）
- DX推進営繕WG（〔グループ長〕営繕部長）
- DX推進道路WG（〔グループ長〕道路部長）
- DX推進河川WG（〔グループ長〕河川部長）
- ICT施工技術活用推進部会（〔部会長〕企画部長）
- 施工時期平準化推進部会（〔部会長〕企画部長）
- 規格標準化推進部会（〔部会長〕企画部長）

連携

- 関東DX・i-Con人材育成センター（センター長）関東技術事務所長（副センター長）防災情報調整官、工事品質調整官、建設情報・施工高度化技術調整官
- 関東DX・i-Construction推進協議会（直轄以外の工事対応）（〔会長〕企画部長）
- 関東DX・i-Construction推進協議会（幹事会）（〔幹事長〕技術調整管理官）
- 都県DX・i-Construction推進連絡会（都県毎の地域建設企業との連携）（〔会長〕各都県毎に定める幹事事務所長）

各WGのDX横断的把握調査結果

国土交通省
関東地方整備局

デジタル技術に関する各WG連携状況

活用技術	活用場面	河川WG	道路WG	営繕WG	港湾空港WG	防災WG	総務WG	建政WG	用地WG	情報インフラ推進WG	人材育成センター
①3D管内図	維持管理	●									
②GIS基盤	維持管理	○	●					●			
③BIM/CIM	調査設計・施工・維持管理	○	●	●	○						
④クラウド基盤	調査設計・施工・維持管理	○	○		○			○			
⑤画像解析	危機管理・維持管理	○	○			○		●		●	
⑥RPA／業務アプリ	危機管理・通常業務		○			●	●	●	●		
⑦通信ネットワーク	危機管理・通常業務	○	○	○		○				○	
⑧UAV（ドローン）	調査設計・施工・維持管理	●	○			●		●	○	○	
⑨ICT施工	施工	●	○	●	●			○			
⑩オンライン申請	通常業務	○	●		●		○	○			
⑪生成AI活用	通常業務	○	○				●			●	
⑫DX活用、普及啓発等	DX出張所、その他	○	●	○				○	●	○	●

1. インフラDX推進の基本スタンス

〈令和8年度 新標語〉
インフラDXを自分ごとに。― チャレンジ精神で、やってみよう！ ―

背景・課題

- 災害激甚化／老朽化
- 担い手不足
- 業務量増大

インフラDXの考え方

- 単なるIT化ではない
- 業務・仕組みの見直し

効果創出の方向性

- 時間創出
- 価値・品質向上

創出された時間・余力の再配分による成果

【整備局職員】働きがい向上・WLB・専門性強化

【建設業界等】生産性・安全性向上・持続性確保

【国民】行政サービスの質・信頼性向上

※このスライドは、令和6年9月24日公表 令和6年度の重点取組内容（P2）について、Microsoft 365 Copilot（生成AI）を使用してリプレイスしたものです。

2. 令和8年度 取組方針

令和８年度は、**i-Con2.0、BIM/CIM、生成AI活用等の取組を着実に定着**させ、**現場での効果発現を意識**したインフラDXを推進する。

① i-Construction2.0（施工のオートメーション化）の推進
- 導入インセンティブ施策の拡充による推進の強化
- 施工事例の水平展開を通じて取組の定着を図る

② 小規模工事への省人化施工普及強化
- i-Construction2.0推進のため省人化建設機械による施工の普及を図る
- ニーズや技術要件、市場規模の明確化を進め、中小企業の参画を促す環境整備に取り組む

③ BIM/CIM活用の普及強化
- 3次元データの二次利用を意識したBIM/CIM活用を推進し、各種試行や事例共有を通じて利用頻度を高め、利用拡大・普及強化を図る
- すべての技術者の基礎的なデジタルスキル習得を進めるとともに、役職者・中堅職員による中核人材の育成を推進する

④ 各部・事務所におけるDXの取組推進【令和7年度方針④⑤を統合】
- i-Constructionモデル事務所やサポート事務所の取組成果を共有し、各部・事務所におけるDXの取組定着を支援する
- DX出張所の水平展開に向けて、拡大に向けた検討に着手する

⑤ 生成AIを活用した業務省力化（CXと連携）【新規】
- 生成AIを活用し、業務負担軽減と学習支援を推進するとともに、好事例の水平展開を図る

3. 令和8年度 中間報告

①i-Construction2.0(施工のオートメーション化)の推進

- **導入インセンティブ施策の拡充**による**推進の強化**
- **施工事例の水平展開を通じて取組の定着**を図る

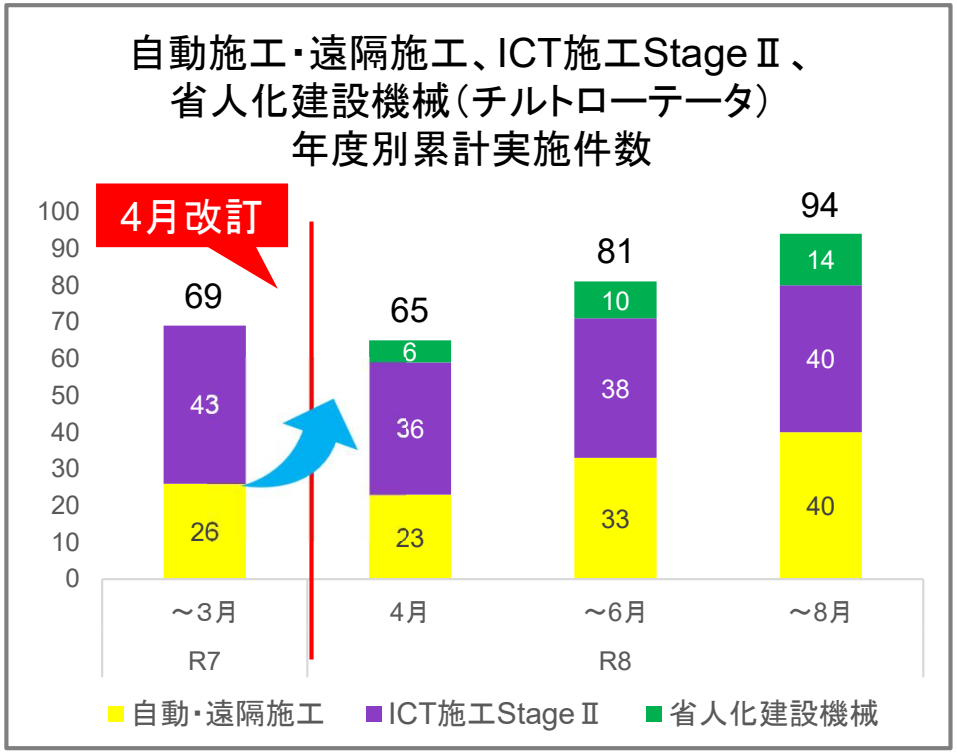
(取組内容)

- **総合評価**の企業の技術力（自由設定項目）へ**ICT施工StageⅡの実施を追加**、工事成績評定時の評価へ、令和７年度までの『遠隔施工・自動施工』、『ICT施工StageⅡ』に加え、**令和８年度から『省人化建設機械（チルトローテータ）』を追加**。
- 施工のオートメーション化で得られた効果の事例を、関東地整内に展開することにより**受発注者双方への導入を促進**。

分類	評価項目	評価内容	評価基準
自由設定項目	ＩＣＴ施工StageⅡの実施	当該工事においてＩＣＴ施工StageⅡにかかる実施計画書を作成し、実施する場合に評価	実施する　：1点 実施しない：0点

※令和8年8月1日以降公告工事が対象（自由選択項目）

	2025年度（R7年度）	2026年度（R8年度）
自動施工 遠隔施工	工事成績評価措置	工事成績評価措置（継続）
施工データの活用 （ICT施工StageⅡ）	工事成績評価措置	工事成績評価措置（継続） 総合評価（8月～）
新たな施工技術 （チルトローテータ）		工事成績評価措置（追加）



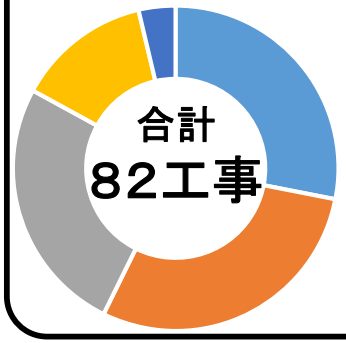
3. 令和8年度 中間報告

国土交通省
関東地方整備局

①i-Construction2.0(施工のオートメーション化)の推進

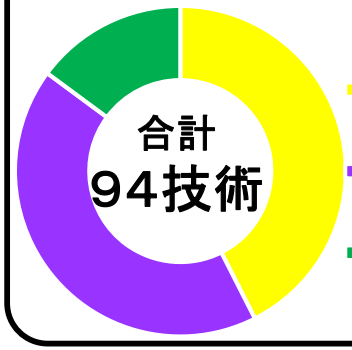
R8.8.31時点

活用工事区分別件数



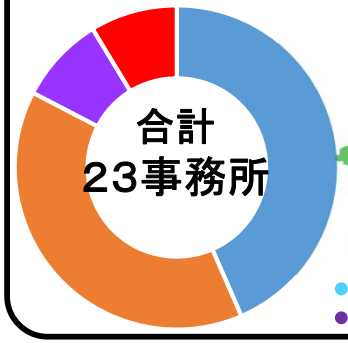
- 河川維持 23工事
- 道路・改良 24工事
- 整備・掘削 21工事
- 築堤・護岸 11工事
- その他 3工事

活用技術別件数



- 自動施工・遠隔施工 40工事
- ICT施工StageⅡ 40工事
- 省人化建設機械 14工事

工事発注事務所





- 河川事務所 10
- 道路事務所 9
- 砂防・ダム事務所 2
- 混合事務所 2

ICT施工StageⅡを用いた建設現場の効率化（R6久慈川右岸下野宮地区整備工事）

ボトルネックの把握
・離合困難箇所での渋滞
・工程上発生するコンクリートポンプ車の配置


離合困難箇所イメージ
※生成AIにて作成

情報の伝達・共有
・リアルタイムの運行状況確認により、搬入路変更等情報の即時共有



工程の最適化
・工程シミュレーションにて搬入路を変更、指示。離合困難箇所、搬入出路の待ち時間削減
・資材設置状況に合わせた柔軟な搬入口の変更による最適な運搬計画

工期の短縮
34日間の短縮
（364日→330日）

省人化
延べ408人の削減
（4368人→3960人）



遠隔施工技術を用いた安全性向上（R7国道19号生坂地区災害復旧（その2）工事）

・法面勾配1:0.4の急勾配上での掘削に人力施工からセフティークライム工法での機械施工へ変更および人力作業の撤廃

工期の短縮
22日間の短縮
（30日→8日）

安全性の飛躍的向上



省人化建設機械を用いた生産性の向上（R7東関道古高築地地区改良工事）

通常 BH0.45m3(OP付)
普通作業員 2名



チルトローテーター
TRBH0.45m3(OP付)



工期の短縮
4日間の短縮
（14日→10日）

省人化
延べ8人の削減
（28人→20人）

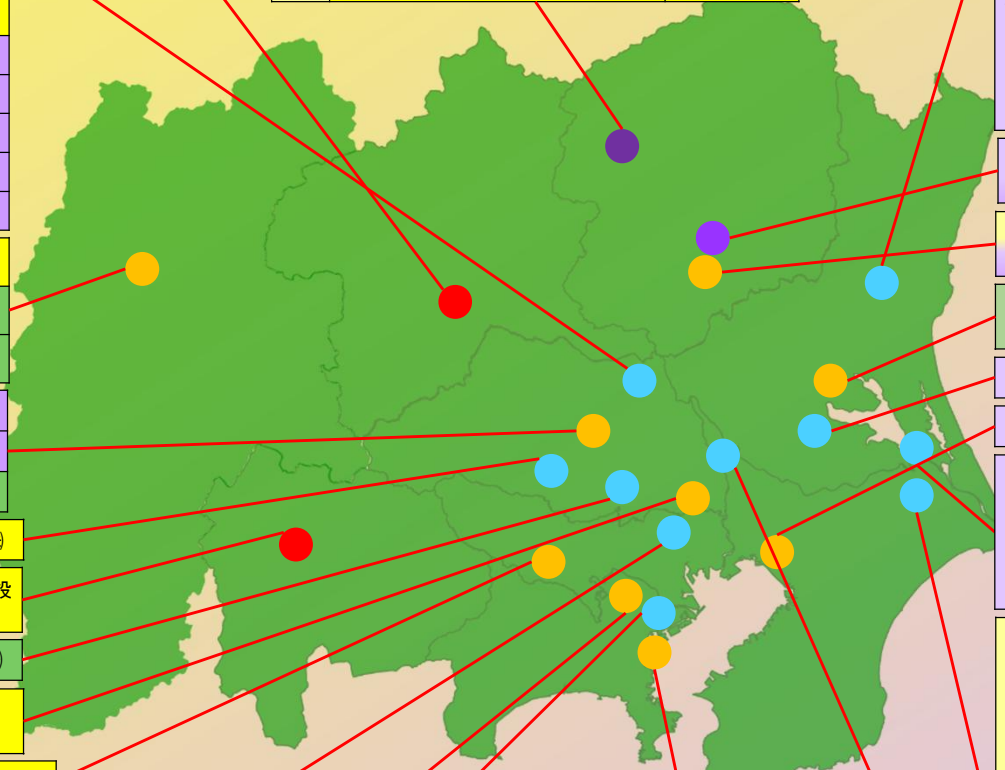


3. 令和8年度 中間報告

国土交通省
関東地方整備局

R8.8.31時点

自動施工・遠隔施工	40工事
ICT施工StageⅡ	40工事
省人化建設機械	14工事



利根川上流	R8・R9八斗島管内左岸河川維持工事	岩崎工業㈱
	R8大利根管内右岸河川維持工事	小川工業㈱
	R8川俣管内左岸河川維持工事	河本工業㈱
	R8・R9川俣管内右岸河川維持工事	小川工業㈱
	R7利根川左岸境河川防災ステーション基盤整備工事	戸邉建設㈱
	R7・R8古河管内上流部河川維持工事	㈱戸室組
	R8渡良瀬川左岸河川維持工事	潮田建設㈱
	R8古河管内下流部河川維持工事	潮田建設㈱
	R7・R8目吹管内右岸河川維持工事	松浦建設㈱
	R7利根川左岸斗合田築堤工事	㈱高橋芝園土木
	R7利根川（鬼怒川）左岸野木崎築堤工事	新井土木㈱
	R7思川改修下生井土砂改良工事	潮田建設㈱
	R7利根川左岸明和川俣築堤護岸工事	岩澤建設㈱
	R7渡良瀬川左岸新久田築堤工事	河本工業㈱

高崎河川国道	R7・R8桐生出張所管内維持工事	河本工業㈱
	R7国道50号前橋笠懸道路野町地区改良その4工事	沼田土建㈱
	R7国道50号前橋笠懸道路赤堀今井地区舗装その1工事	沼田土建㈱
	R7国道17号綾戸BP綾戸第1橋梁上部工事	川田建設㈱ 東京支店

日光砂防	R6馬返崩壊地対策工事	中村土建㈱
	R7稲荷川上流山腹工工事	㈱浜屋組
	R7野門沢上流左岸崩壊地対策工事	ライト工業㈱

久慈川緊急治水対策工事事務所	R6久慈川右岸下野宮地区整備工事	㈱新井組
	R6久慈川左岸堅磐地先築堤工事	五洋建設㈱
	R6久慈川左岸小貫北地先樋管新設工事	㈱奥村組
	R6久慈川右岸南田気地区整備工事	三井住友建設㈱
	R6久慈川左岸久野瀬地区整備工事	若築建設㈱
	R7久慈川左岸小貫地先河道掘削（その2）工事	増子建設㈱
	R7久慈川右岸下津原地先河道掘削工事	増子建設㈱
	R7久慈川左岸盛金地先河道掘削工事	㈱井坂組
	R7久慈川大子周辺整備工事	大木建設㈱
	R7久慈川左岸西野内地先築堤工事	昭和建設㈱
	R5久慈川右岸高渡地区整備工事	高橋建設工業㈱
	R7久慈川右岸頃藤北地先築堤工事	樋口土木㈱
	R7久慈川右岸額田地先下流部築堤（その1）工事	㈱吉田組

鬼怒川ダム	R7川治ダム土砂掘削他整備工事	㈱浜屋組

宇都宮国道	R7国道4号春日部古河BP元栗橋地区改良他工事	岩田地崎建設㈱

常総国道	R6東関道行方鉾田地区改良その2工事	新井土木㈱
	R7東関道古高築地地区改良工事	高橋建設㈱

霞導水	R6霞ヶ浦導水第2機場新設工事	戸田建設㈱

千葉国道	R7国道127号川名・富浦地区改良工事	睦建設㈱

霞ケ浦河川	R7・8土浦出張所管内右岸河川維工事	㈱伊藤建設
	R7・8麻生出張所管内上流河川維工事	塚本建設㈱
	R7甘田入第8地区基盤整備工事	髙橋建設㈱
	R7甘田入第15地区基盤整備工事	㈱加藤建設

長野国道	R7国道19号生坂地区災害復旧（その2）工事	㈱宮下組
	R7・R8信州新町出張所管内維持工事	㈱小池組
	R8国道19号長野市安庭歩道整備他工事	㈱小池組

大宮国道	R7国道17号本庄道路沼和田地区改良工事	小川工業㈱
	R7国道17号本庄道路金久保地区改良工事	小川工業㈱
	R7(仮称)道の駅こうのす調整池その3工事	金杉建設㈱

荒川上流	R8越辺川管内維持工事	伊田テクノス㈱

甲府河川国道	R4国道20号新笹子トンネルその1工事	大林・大本特定建設工事共同企業体

荒川調節池	R7荒川第三調節地土砂改良他その1工事	金杉建設㈱

北首都	R7国道4号東埼玉道路（専用部）柿木第2号橋下部その2工事	㈱加藤建設

相武国道	R7国道20号八王子南BP寺田地区改良その24工事	巴山建設㈱

荒川下流	R8荒川下流河川事務所管内下流部右岸維持管理工事	キムラ工業㈱
	R8荒川下流河川事務所管内下流部左岸維持管理工事	関口工業㈱
	R7荒川下流左岸川口地区高規格堤防高水護岸工事	中原建設㈱
	R7荒川下流左岸松島一丁目地区高水敷掘削工事	金杉建設㈱

川崎国道	R5国道246号厚木秦野道路伊勢原第一トンネル工事	㈱安藤・間

京浜河川	R7多摩川西六郷河道浚渫工事	東亜建設㈱
	R6相模川左岸馬入築堤工事	㈱甲斐組

横浜国道	R7国道1号箱根新道法面防災対策工事	㈱アコック

江戸川	R7・8・9江戸川上流左岸河川維持工事	松浦建設㈱
	R7・8・9江戸川上流右岸河川維持工事	川村建設㈱
	R7・8中川下流河川維持工事	㈱ケイミックス
	R8三郷・吉川河川維持工事	金杉建設㈱
	R７中川右岸鳥内排水樋管改築工事	㈱加藤建設
	R７江戸川右岸金杉地先堤防整備工事	大旺新洋㈱

利根川下流	R7・8取手管内維持工事	㈱石浜建設
	R7・8竜ヶ崎管内維持工事	㈱アジア開発興業
	R7・8安食管内維持工事	㈱アジア開発興業
	R7・8金江津管内左岸維持工事	室田建設㈱
	R7・8金江津管内右岸維持工事	石井工業㈱
	R7・8小見川管内維持工事	グンジ建設㈱
	R7・8銚子管内維持工事	大勝建設㈱
	R7・8北千葉管内維持工事	㈱アジア開発興業
	R7利根川下流部周辺整備工事	岡田土建㈱
	R7利根川右岸松戸地区外整備工事	岡田土建㈱
	R7利根川左岸別所地区整備工事	岡田土建㈱
	R7利根川下流部浚渫その2工事	東洋建設㈱
	R7利根川右岸土砂改良工事	高橋建設㈱

3. 令和8年度 中間報告

② 小規模工事への省人化施工普及強化

- i-Construction2.0推進のため**省人化建設機械による施工の普及**を図る
- ニーズや技術要件、市場規模の明確化を進め、**中小企業の参画を促す環境整備に取り組む**

（取組内容）

- ICT建設機械等に認定された省人化建設機械（チルトローテータ）利用工事では、**工事成績評定時に評価**するとともに、**チルトローテータ講習を開催**する。
- 講師と参加者の自由な意見交換を目的とした**対話型形式**の経営者セミナーを開催する。
  小規模工事ICT施工活用の手引きを拡充し、**８月に更新した**。

チルトローテータ講習（Ｒ８新規）

	日程	時間
第1回	10月8日（木）	10:00-11:30
第2回	10月8日（木）	11:00-12:30
第3回	10月8日（木）	13:30-15:00
第4回	10月8日（木）	14:30-16:00
第5回	10月9日（金）	10:00-11:30
第6回	10月9日（金）	11:00-12:30
第7回	10月9日（金）	13:30-15:00
第8回	10月9日（金）	14:30-16:00



導入を検討している企業を対象とし、**経営企画職**と**オペレータ**に参加いただき、**実機操作**と導入企業との**意見交換**を通じて省人化建設機械の有用性を確認。

ＩＣＴ施工経営者セミナー全都県開催



講習形式



対話型形式

R8開催予定日	
茨城県	10/ 7
栃木県	10/14
群馬県	調整中
埼玉県	調整中
千葉県	調整中
東京都	調整中
神奈川県	調整中
山梨県	12/ 2
長野県	調整中

令和７年度に好評であった**対話型形式**を取り入れ、関東地整管内全都県で開催

都県DX･i-Construction推進連絡会が事務局

※ 関東DX・i-Construction人材育成センターにおいて、省人化施工の普及強化と建設業界の人材育成に向け、各種講習会、ICT施工体験会、ICT施工Webセミナー等を実施

第15回
BIM/CIM推進委員会資料　一部抜粋

国土交通省
関東地方整備局

BIM/CIMの現在と今後の方向性

2023年度
BIM/CIM
原則適用

現在

3Dモデルの品質確保

解決すべき課題

- 3Dモデルの施工での活用
- 関連人材の不足

現在～今後の取組

- 設計時の照査ルール策定
- 試行等による活用目的ごとの情報要件の検討
- 受発注者の人材育成

2027年度以降～

設計から施工での3Dデータ活用の推進

3Dモデル工事契約図書化

3Dモデル作成を見込んだ当初発注

解決すべき課題

- 施工のBIM/CIM標準化
- 活用方法の情報不足

現在～今後の取組

- 3Dモデル工事契約図書化ガイドライン策定
- BIM/CIM積算原則化（一部工種）
- ユースケース充実化
- 見積分析/歩掛り化検討

2030年度以降～

データ連携による建設生産プロセス（維持管理まで）の効率化・省人化

（プロセス間で連携された情報によりAIが自律的に推論し物理的な行動を行う）

解決すべき課題

- データ連携の未充実
- 現行プロセスからの転換が困難

現在～今後の取組

- 構造物設計・施工の標準化（モジュラー・コンストラクション、パラメトリック設計、オブジェクトの共有）
- BIMCIMに係るデータのAI-Ready化

3. 令和8年度 中間報告

③ BIM/CIM活用の普及強化

- **3次元データの二次利用を意識したBIM/CIM活用**を推進し、各種試行や事例共有を通じて**利用頻度を高め、利用拡大・普及強化を図る。**
- すべての技術者の**基礎的なデジタルスキル習得**を進めるとともに、**役職者・中堅職員による中核人材の育成**を推進する。

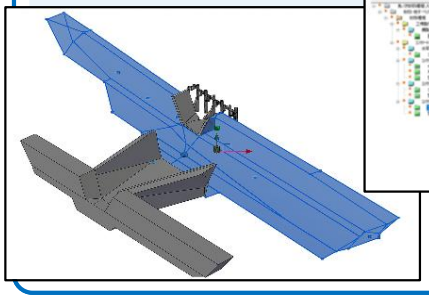
【技術】 3次元データの二次利用

目的

３次元モデルを活用し、人的作業を減らし、人為的ミスの削減を図る

上半期の実施事項

- BIM/CIM積算試行（道路土工）の対象工種を拡大し、16件の業務で実施予定





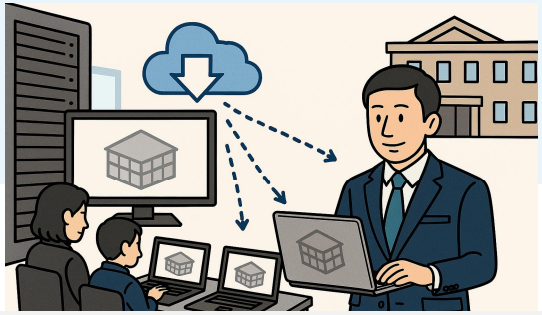
【環境整備】 利用拡大・普及強化を図る

目的

誰もが3次元データに触れ、事例を横展開できる環境を整える

上半期の実施事項

- 活用事例集を更新（全体136事例を掲載）
- 3Dビューアーを行政PC **2,700台**に配信



※掲載イラストはMicrosoft Copilotにより生成したものです

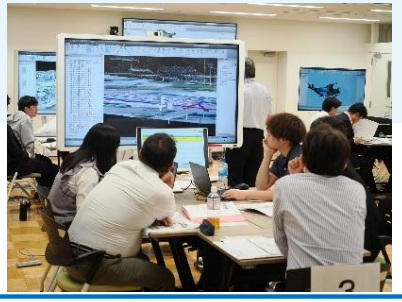
【人材】 基礎的なデジタルスキル習得

目的

全技術者の基礎力を高め、実務を牽引する中核人材を育成

上半期の実施事項

- eラーニング研修を開始
- 実践トレーニングを実施し、若手以外の中堅職員も参加
- 操作講習会を14回実施（4～8月）延べ143人参加



3. 令和8年度 中間報告

④ 各部・事務所におけるDXの取組推進

- **i-Constructionモデル事務所やサポート事務所の取組成果を共有し、各部・事務所におけるDXの取組定着を支援する。**
- **DX出張所**の水平展開に向けて、**拡大に向けた検討**に着手する。

DXの取組定着・水平展開

目的

各部・事務所のDXへの関心を高め、好事例の共有・横展開を促進

上半期に実施したこと

- 「関東インフラDX Direct」への取組事例の募集を継続
  推進室**18件**、事務所**12件**投稿 (R8.10.23時点)
- 昨年度に引き続き、組織内部のDX取組に対する表彰を行うためDX組織表彰を実施予定。それに伴い、下半期投票を実施する。

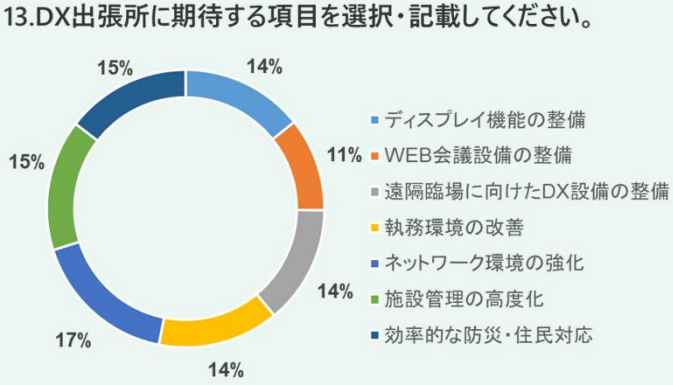
DX出張所の拡大に向けた検討

目的

現場ニーズを踏まえ、水平展開に必要な標準仕様・要件を整理

上半期に実施したこと

- 出張所職員を対象にニーズ確認を実施
- 確認結果を踏まえ、今後の方向性を整理
- 下期の意見交換に向けた準備を進める



3. 令和8年度 中間報告

⑤ 生成AIを活用した業務省力化（CXと連携）

● 生成AIを活用し、**業務負担軽減と学習支援を推進**するとともに、好事例の水平展開を図る。

利用促進・効果把握

目的

生成AIの活用を組織内に定着させ、業務改善と組織力向上を図る。

上半期に実施したこと

- 利用状況・活用効果・課題を把握するアンケートを実施
- アンケートを通じて生成AIの周知と利用者拡大を推進

➢ 生成AIに関するアンケートの概要は「情報インフラWG」にて説明

業務支援環境の整備

目的

職員が生成AIを業務で活用しやすい支援コンテンツ・利用環境を整備

上半期に実施したこと

- 業務支援チャットボットのパワーアップ
- 生成AI活用の案内ページ「生成AIへの道」を更新。引き続き、事例集の更新を進める。

これまで



建設コンサルタント
建設コンサルタ業務発注に関する手続きの疑問

NEW



工事発注
工事発注に関する手続きの疑問

NEW



BIM/CIM
基準や要領について確認したいこと

⑤ 生成AIを活用した業務省力化（CXと連携）

生成AI利用状況アンケート結果（概要）

アンケート概要

- 目的：職員の生成AI利用実態や課題を把握し、今後の運用改善・活用促進に活用
- 対象者：関東地方整備局の全職員 約4,000人（期間業務職員を含む）
- 実施時期：令和8年7月（回答期限：令和8年7月31日）
- 回答方法：Microsoft Forms 最終回答数 1,732名

主な結果

- 生成AIを業務で利用した経験がある職員は 72.2%（1,251名）
- Microsoft Copilot Chatを現在利用している職員は 68.7%（1,024名）※「ほぼ毎日」は33.2%
- ガバメントAI「源内」を現在利用している職員は 32.9%（491名）
- Copilotの継続利用者は前年度から約20ポイント上昇

課題と今後の対応

- 未利用の主な理由は、「業務で使えるイメージがない」「使い方が分からない」
  「どこから入ればよいか分からない」「何ができるか分からない」

⇒ 利用手順の見える化、活用事例集の充実、研修・好事例の横展開を進める